

第4回アンケート

区政診断制度について

(1 2 年度区政モニター回答)

1 調査の概要

この報告書は、平成12年度第4回区政モニターアンケート「区政診断制度について」の回答をまとめたものです。

2 調査目的

足立区では、行政サービスの改善や説明責任の遂行のため、「区政診断制度」（＝行政評価制度）の導入を予定しています。制度の構築にあたり、区政モニターの意見等を聞いて、最終案確定の基礎資料とすることを目的として調査しました。

3 調査方法

調査票・回答とも郵送

4 実施時期

平成12年12月8日～12月22日

5 対象者数、回答人数

対象者 平成12年度区政モニター48人 回答者 48人

6 回答者の性別・年代別・職業別・ブロック別の構成（年代はH12.6.1現在）

| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 合計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 男 | 1 | 1 | 1 | 1 | 9 | 0 | 13 |
| 女 | 3 | 11 | 9 | 10 | 2 | 0 | 35 |
| 合計 | 4 | 12 | 10 | 11 | 11 | 0 | 48 |

| 職業別 | 自営業 事業主 | 管理職 自由業 | 事務職 業務職 | 労務職 サービス業 | パート タイマー | 学生 | 主婦 | 無職 | 合計 |
|-----|------------|------------|------------|--------------|-------------|----|----|----|----|
| 人数 | 7 | 2 | 2 | 0 | 3 | 3 | 21 | 10 | 48 |

| ブロック | 17°ブロック | 27°ブロック | 37°ブロック | 47°ブロック | 57°ブロック | 67°ブロック | 77°ブロック |
|------|---------|---------|----------|----------|----------|----------|---------|
| 人数 | 3 | 4 | 4 | 6 | 7 | 4 | 5 |
| ブロック | 87°ブロック | 97°ブロック | 107°ブロック | 117°ブロック | 127°ブロック | 137°ブロック | 合計 |
| 人数 | 4 | 0 | 4 | 4 | 2 | 1 | 48 |

7 調査結果・分析の見方

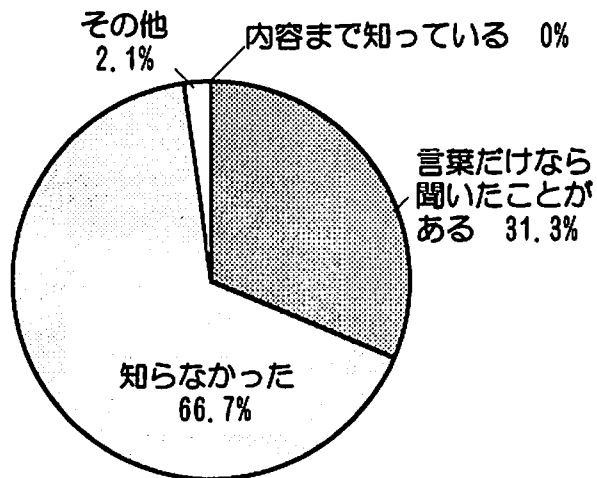
回答の比率（％）は、その設問の回答者を基礎として算出しました。従って、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100％を越えます。また、原則として小数第2位を四捨五入して小数第1位まで示したもので、比率の合計が、100％に満たないまたは上回ることがあります。回答者数が未記入の場合は、その設問の回答者数は48人です。意見は、原文の趣旨を損なわないように要約し、掲載しました。

要旨

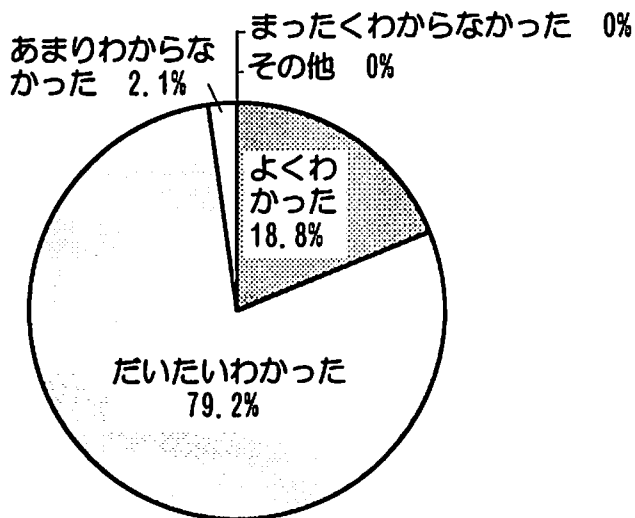
| | | | |
|---------------------------|---------------------------|-------|-------|
| 問1 区政診断制度の周知度 | 「知らなかった」 | 66.7% | (32人) |
| | 「言葉だけなら聞いたことがある」 | 31.3% | (15人) |
| 問2 区政診断制度についての理解度 | 「だいたいわかった」 | 79.2% | (38人) |
| | 「よくわかった」 | 18.8% | (9人) |
| | 「あまりわからなかった」 | 2.1% | (1人) |
| 問4 診断分野の分類方法 | 「適切である」 | 77.1% | (37人) |
| | 「追加・変更したい分野がある」 | 18.8% | (9人) |
| 問7 わかりにくい診断指標の有無 | 「ない」 | 77.1% | (37人) |
| | 「ある」 | 22.9% | (11人) |
| 問9 不要な診断指標の有無 | 「ない」 | 79.2% | (38人) |
| | 「ある」 | 20.8% | (10人) |
| 問11 追加・変更した方がよい診断指標の有無 | 「ない」 | 56.3% | (27人) |
| | 「ある」 | 43.8% | (21人) |
| 問13 区政診断制度定着後の区政の変化(複数回答) | 「区民生活に真に必要な施策が実施されるようになる」 | 70.8% | (34人) |
| | 「区政がわかりやすくなる」 | 54.2% | (26人) |
| | 「区民にわかりやすい行政改革が進む」 | 37.5% | (18人) |
| | 「区民が区政にもっと自由に参加しやすくなる」 | 37.5% | (18人) |
| | 「窓口などの職員の区民対応が良くなる」 | 33.3% | (16人) |

※ 問3、問5、問6、問8、問10、問12は記述回答のため省略

問1 あなたは、行政評価制度をご存知でしたか。



問2 足立区では、「区の現状や区政を人の体になぞらえ、その健康診断を行う」という区政診断制度（＝行政評価制度）を取り入れようと考えていますが、区政診断制度について、ご理解いただけましたか。

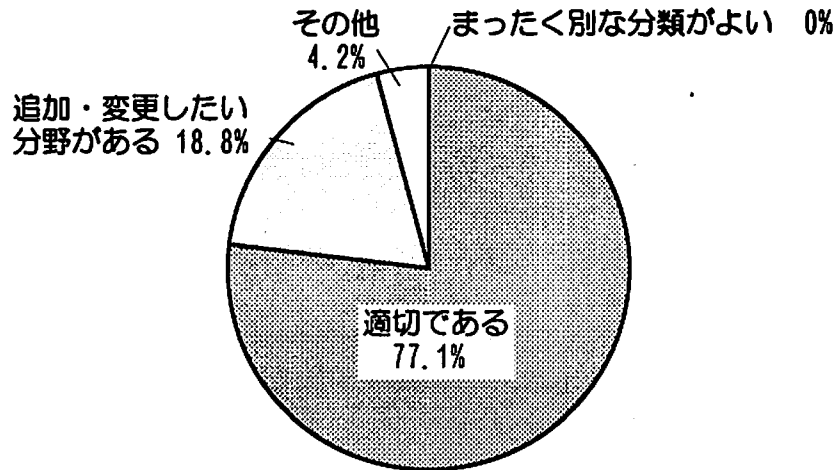


問3 問2で「あまりわからなかった」または「まったくわからなかった」を選んだ方にお聞きします。
区政診断制度について、わかりにくいところやその理由をお書きください。

「あまりわからなかった」を選んだモニター 1人

- ・区の現状や区政を人の体になぞらえて説明されてもイメージがつかめない。実際の具体例で説明してほしい。

問4 区政診断制度では、診断分野を「健康・福祉」「安全」「子育て」「環境」「産業」「便利・快適」「社会参加」「区政・区役所」の8分野に分類しています。あなたは、この分類の仕方について、どのようにお考えになりますか。



問5 問4で「追加・変更したい分野がある」を選んだ方にお聞きします。あなたが、追加・変更した方がよいと思われる項目及び代案をお書きください。

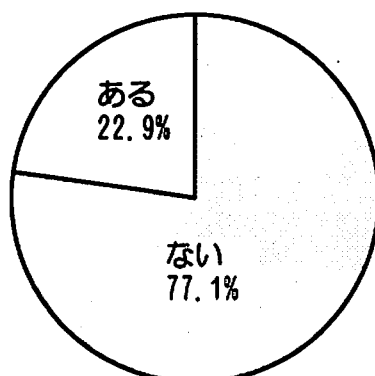
「追加・変更したい分野がある」を選んだモニター 9人中

| | 分 野 | 人 数 | 代 案 等 |
|--------|--------|-----|--|
| 変 更 | 健康・福祉 | 1人 | ・「健康・福祉分野」はいらない。 |
| | 安 全 | 1人 | ・「災害・事故対策分野」に変更する。 |
| | 子 育 て | 2人 | ・教育的内容を加える。 ・近年、小・中・高校生を持つ親の悩みが増えているので、「子育て分野」の対象年齢の範囲を広げた方がよい。 |
| | 環 境 | 1人 | ・「自然環境・社会環境分野」に変更する。 |
| | 産 業 | 2人 | ・製造業だけでなく、知的産業もほしい。 ・「産業分野」は不要だ。 |
| | 便利・快適 | 1人 | ・「便利・快適分野」は曖昧なので、指標24は「交通分野」に、指標25は「環境分野」に、指標26は「健康分野」に変更した方がよい。 |
| | 社会参加 | 1人 | ・「社会教育・生涯教育分野」にする。 |
| | 区政・区役所 | 0人 | |
| 追 加 | | 5人 | ・学校教育は別枠であってもよい。 ・「教育分野」を追加する。 ・「文化・教育分野」を追加する。 ・「学校教育と社会教育分野」を追加する。 ・「税金分野」「雇用(労働)分野」「交通分野」「男女共同参画分野」「司法分野」を追加する。 |

問6 問4で「まったく別な分類がよい」を選んだ方にお聞きします。
 分類の仕方について、具体的にお書きください。

「まったく別な分類がよい」を選んだモニター 0人

問7 区政診断制度では、個別の診断項目として「国民健康保険対象者一人あたりの医療費支出額」など、当初39項目の指標を用いる予定です。ひとつひとつの指標について、それが何を表しているか、わかりにくいとお感じになるものがありますか。



問8 問7で「ある」を選んだ方にお聞きします。
 あなたが、わかりにくいと感じる指標の番号と理由をお書きください。

「ある」を選んだモニター 11人中

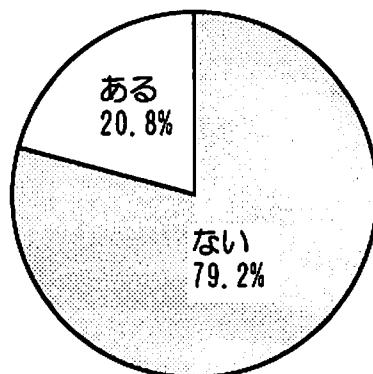
| 指標番号 | 人数 | 理由 |
|------|----|---|
| 指標1 | 2人 | ・医療費支出からなぜ分かるのか。 ・レセプトが公開されていないので、真の指標にならない。 |
| 指標2 | 1人 | ・生活習慣病については、具体的な説明が必要だ。 |
| 指標3 | 1人 | ・レセプトが公開されていないので、真の指標にならない。 |
| 指標5 | 1人 | ・ここで言っている人とは、働いてない人という意味か。 |
| 指標8 | 1人 | ・事故原因により対策が異なるのではないか。 |
| 指標9 | 1人 | ・備蓄よりも、避難場所経路などの意識調査を。 |
| 指標10 | 1人 | ・備蓄よりも、避難場所経路などの意識調査を。 |
| 指標12 | 2人 | ・出生率と子育てのしやすさは関係あるのか。子育ての中で何が大変かは時代で違うが、女性が子どもを産むというのは周りの環境とあまり関係ない。 ・子どもの遊び場確保に全力を。家庭・学校の次の第3の場の確保が重要だ。そのための指標がほしい。 |

(問8, 次ページへ続く)

(問8, 前ページから続き)

| 指標番号 | 人数 | 理由 |
|------|----|---|
| 指標13 | 1人 | ・子どもの遊び場確保に全力を。家庭・学校の次の第3の場の確保が重要だ。そのための指標がほしい。 |
| 指標14 | 3人 | ・具体的にはどのようなものか。 ・子どもの遊び場確保に全力を。家庭・学校の次の第3の場の確保が重要だ。そのための指標がほしい。 ・「開かれた学校づくり」とは、地域住民が学校施設等を有効利用するだけでは不十分だ。“学校自体が正しい情報公開をしているか”などが信頼の基礎となる。校内不祥事等を内部処理で隠したりしては信頼はない。 |
| 指標15 | 1人 | ・子どもの遊び場確保に全力を。家庭・学校の次の第3の場の確保が重要だ。そのための指標がほしい。 |
| 指標16 | 2人 | ・具体的にはどのようなものか。 ・子どもの遊び場確保に全力を。家庭・学校の次の第3の場の確保が重要だ。そのための指標がほしい。 |
| 指標24 | 1人 | ・どの位の時間がかかると不便に思うか、数字で表した方が良い。 |
| 指標32 | 1人 | ・主旨がよくつかめない。定住の意志がなくても愛着のある人はいると思う。 |
| 指標33 | 1人 | ・なぜ15～64歳だけなのか不明だ。むしろ15歳以下・65歳以上の人口比率も含める指標が必要ではないか。 |
| 指標34 | 2人 | ・プライバシーへの配慮はあるのか。 |
| 指標35 | 1人 | ・区民が何をしたときに、どの位の時間で、どこまで対処したかを数字で表した方が良い。 |
| その他 | 4人 | ・指標案一覧については了とする。しかし、「一人ひとりが自分の健康状態ほどに強い関心を払って改善意欲を持つための方策」や、「どのように改善のための運動を盛り上げるか」が現状では理解できない。 ・項目全体が抽象的言葉で何の指標か不明なので、具体性を持たせる。 ・概略良いと思うが、防犯（特定集団による無差別犯罪、動機なき衝動的犯罪など）は安全分野に入るのか。これは都政の分野か。 ・「産業分野」では、足立区に地場産業はもうないのか。 |

問9 あなたは、39項目の診断指標のなかで、区の診断項目としてふさわしくない、もしくは不要とお考えになるものがありますか。



問10 問9で「ある」を選んだ方にお聞きします。
あなたが、不要とお考えになる指標の番号と理由をお書きください。

「ある」を選んだモニター 10人中

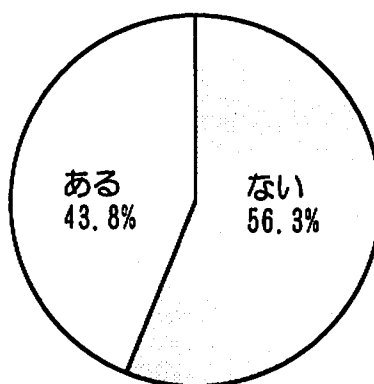
| 指標番号 | 人数 | 理由 |
|------|----|---|
| 指標1 | 2人 | ・どうしてもコストが高額になるのか、レセプトが問題だ。 |
| 指標2 | 1人 | |
| 指標3 | 1人 | ・むしろ、60歳以上で働いている人の割合を。 |
| 指標4 | 1人 | ・施設、在宅、通所も合わせて状況指標を。 |
| 指標5 | 1人 | ・卒業生というのは、区民全体からいうと少数なのではないか。 |
| 指標6 | 1人 | ・公的介護に安心を感じるなど有り得ない。改善の余地のない質問だ。 |
| 指標9 | 1人 | ・備蓄よりも避難場所経路などの意識調査を。 |
| 指標10 | 1人 | ・備蓄よりも避難場所経路などの意識調査を。 |
| 指標11 | 1人 | ・備蓄よりも避難場所経路などの意識調査を。 |
| 指標15 | 2人 | ・このような主観的な回答はどのように集めるのか。判断の材料と成り得るのか。 ・悪い足立をイメージすることになる。 |
| 指標16 | 2人 | ・自傷他害の数・児童館の利用数・家族友人との会話時間等 をみることで、地域の状況や子どもたちの現状が区民に分 かりやすくなる。 ・悪い足立をイメージすることになる。 |

(問10、次ページへ続く)

(問10, 前ページから続き)

| 指標番号 | 人数 | 理由 |
|------|----|---|
| 指標22 | 1人 | ・経済活動は企業・営業者等が独自に努力するもので、区は関わりようがないのではないか。 |
| 指標23 | 1人 | ・経済活動は企業・営業者等が独自に努力するもので、区は関わりようがないのではないか。 |
| 指標25 | 1人 | ・区内の公園数は十分であり、これから増やそうとしても無理だ。既設の改善が必要だ。 |
| 指標30 | 2人 | ・男性と女性の考え方や物の見方に違いはあるかもしれない。しかし、男・女と分けずに、個人の能力により登用されるべきものではないか。 ・本当に能力のある委員が必要なら、男女の割合を明示する必要はない。 |
| 指標33 | 1人 | ・なぜ15～64歳だけなのか不明だ。むしろ、15歳以下・65歳以上の人口比率も含める指標が必要ではないか。 |
| 指標35 | 1人 | ・既に十分親切で的確な対応をしていると思う。 |

問11 あなたは、39項目の区政診断指標のなかで、追加・変更した方が良いと思われる項目がありますか。



問12 問11で「ある」を選んだ方にお聞きします。

あなたが、追加・変更した方がよいと思われる項目及び代案をお書きください。

「ある」を選んだモニター 21人中

| | 指標番号 | 人数 | 代案等 |
|---|------|----|--------------------------|
| 変 | 指標1 | 1人 | ・「身近に信頼できる医療施設の有無」に変更する。 |
| 更 | 指標12 | 1人 | ・出生率よりも、区民に聞いたほうが良い。 |

(問12, 次ページへ続く)

(問12, 前ページから続き)

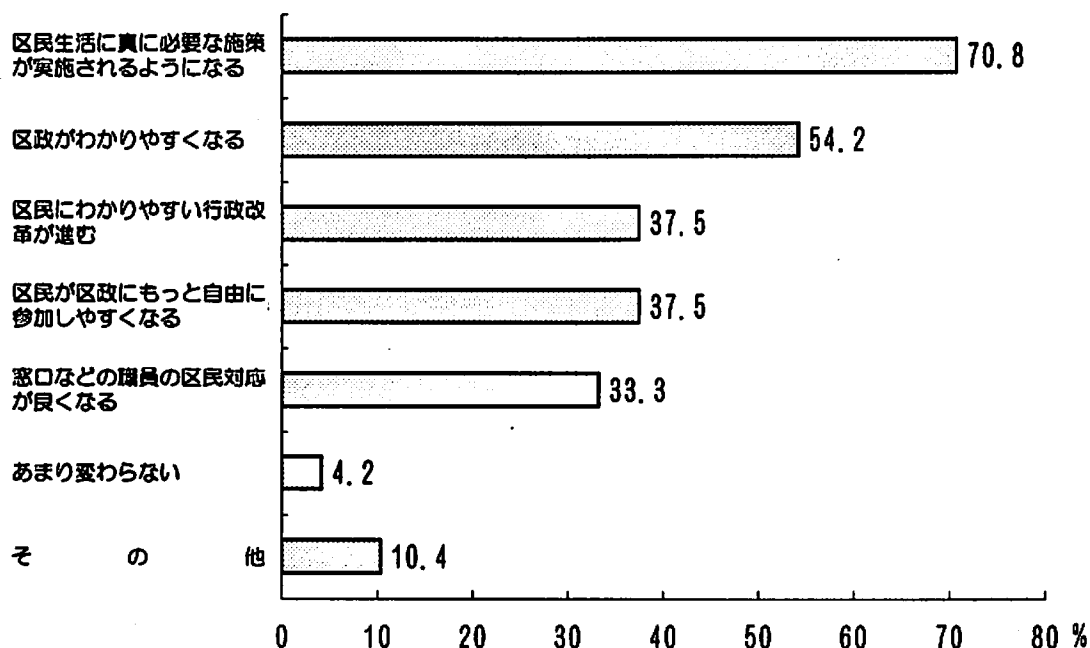
| | 指標番号 | 人数 | 代 案 等 |
|------------|-------|----|--|
| 変 更 | 指標12 | 1人 | ・親が子育てしやすいかどうかを感じるのは出産後なので、これでは、子育てしやすい環境かどうかを測れない。出生後から学齢まで、どの位の割合が定住しているのかが問題だ。 |
| | 指標15 | 3人 | ・指標15では実態を把握するのに弱いので、「出席停止・不登校の数もしくは割合」とする。水面下での“学校が楽しくない児童・生徒”の実状が見えると思う。 ・悪ふざけする子どもも楽しいと答えるので、「学校で落ち着いて学習しているか」または「学校のきまりを守って、仲良く協力しているか」に変更する。 ・「塾に通っている児童・生徒の割合」に変更する。 |
| | 指標25 | 1人 | ・最近緑地が少なくなっているので、「緑地・街路樹等の不足を感じている区民の割合」とする。 |
| | 指標30 | 1人 | ・「男・女ということで人事などで不平等な扱いがないか」に変更する。 |
| | 指標33 | 1人 | ・「区民数に占める高齢者(65歳以上)数の割合」に変更する。 |
| | 分 野 | | 代 案 等 |
| 追 加 | 健康・福祉 | | ・「医療機関に対する満足度」、「保健所のはたしている役割や存在価値に対する満足度」。 ・「足立区内の医者・保健所への満足度(休日・夜間診療の充実)」。 ・「医療施設が身近にあるかどうかの割合」。 ・「区内医療機関と区外医療機関への医療費支出割合」。 ・今後は一人暮らしの高齢者が増加するので、高齢者増加に備えた独自項目も必要になってくる。 ・「要入所裁定後、入所までに要した期間と人数割合」。 ・「身障者就労先の区内・区外の比率割合」。 |
| | 安 全 | | ・まちづくりの一つの指標となるので、安全分野では「殺傷事件等」についても触れてほしい。 ・「大地震が起こった際の避難場所について」。 ・「自宅近くで危険と危険と感じる交通箇所の比率」。 |
| | 子 育 て | | ・男性も女性も、子育ては楽しいものであることを実感できる項目。 ・「区立及び私立保育園児の入園割合」。 ・「義務教育期児童生徒の区外就学割合」。 ・「学童保育を希望しながら、受け入れられていない児童数比率」。 |

(問12, 次ページへ続く)

(問12, 前ページから続き)

| | 分野 | 代 案 等 |
|---|------------|---|
| 追 | 子 育 て | <ul style="list-style-type: none"> ・「子どもが社会と関わっている割合、引きこもり傾向にある割合」(20歳までを対象)。 ・「子どもの権利」、「青少年の育成」。 ・「区立学校の教師と生徒の関係、教師への満足度」。 ・「学校へ行けなくなった児童生徒の生活状況を把握するもの」。どのような援助をしているか、望まれていることは何か。 |
| | 環 境 産 業 | <ul style="list-style-type: none"> ・「再生品利用率(普及率)」。 ・「地場産業の育成」。 ・「働きやすさ・労働条件・事業主の意識を示すもの」。仕事に向ける伝統的思いや気概などが感じられ、製造業に対する誇りを示すのではないか。 |
| | 便 利・快 適 | <ul style="list-style-type: none"> ・「区内自転車店の販売台数と区が処理する廃棄台数割合」。 ・「区の保養施設・文化施設が不足していると感じる区民の割合」。 ・「区民が利用している運動施設の区内・区外の利用率割合」。 |
| | 社 会 参 加 | <ul style="list-style-type: none"> ・「在住外国人が地域社会参加できていると感じる区民の割合」。 |
| | 区 政・区 役 所 | <ul style="list-style-type: none"> ・区政・区役所分野に「人件費の削減等」を追加する。財政難の折、まず区役所自身が身軽になるべくその手法を追加してほしい。 ・「区政・区役所分野」に「公債費比率」も入れるべきだ。 ・「本庁舎の建物施設について区民が好ましいと感じているかどうかの割合」、「区職員の区外居住者割合」。 |
| 加 | そ の 他 | <ul style="list-style-type: none"> ・「教育・文化」。子どもから大人までの教育や文化的環境について。 ・「近くに相談(法律・子育て・教育)できる施設・人の有無」を追加する。 ・「公道の不正使用の抑制と歩道の有効利用度」。 ・「成人のプライバシー等」、「法的な問題」、「地域との関わり」。 ・「外国籍の居住者に関する項目」。暮らしやすさの指標となり、望むことを提供できているかを知る手立てとする。 |

問13 あなたは、区政診断制度が本格的に定着してきた場合、区政はどのように変わるとお考えになりますか。(いくつでも)



問14 足立区の区政診断制度について、ご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。

- 区政診断制度が導入されて診断結果が公開されれば、区政に対する関心が高まり区民によるチェック機能も働くようになって、区政の適正化が図れる。我が国では、行政評価制度はまだ試行段階だが、足立区では、区政診断制度を試行的にでも導入し、事後のチェックや区民からの意見等で改善すると共に、他の自治体の良い所を取り入れてこの制度を成熟させていくべきだ。
(20代 男性)
- 「区民の声」制度は反論のための窓口になっている。何のためにこの窓口を設けているのか、今一度考え直してほしい。区政診断制度は、このような細かい点まで改善していけるものであるべきだ。
(20代 女性)
- 区政診断制度は必要ない。例えば、統計後に改善点が出てくるだろうが、現に老人ホーム入所待機者が分かっているのに、その対策を講じる前に、無駄なリサーチに金や時間を費やして満足な措置が取られないのなら、早く改善を進めるべきだ。
(20代 女性)
- このような制度を取ることによって、区政が自分たちの生活に身近なものになると思う。家の周りの情報しか耳に入っていないため、他の人々の考えや地域の様子を把握するのは難しい。区政診断制度のようなかたちで、人々に足立区の状態を知らせ、対策を区民でも考え、その結果を区民に報告することで自分たちの区が住みやすいものになる。
(20代 女性)

- 区役所内に数多くのミスが潜在している。民間企業では、ミスは死活問題となる。これからは、区役所も民間企業の経営努力を見習うべきだ。非営利団体も背水の陣のつもりで運営していかないとこの不況は乗り越えられない。区政診断制度が真に区のためになると期待している。

(30代 男性)
- 短所も明らかになるので区としても勇気のいることだが、それを実施しようとしているのは素晴らしい。とにかくやってみようというのには感心した。区民は満足しないことも多いが、厳しい結果も、それをステップに区政の向上を目指す姿勢があれば良い資料になる。下に見られがちな足立区だけに、汚名返上の気合いが区政に見られて嬉しい。足立区が、区民の意見も十分に聞いて、他の地域に先駆けて環境改善の政策や制度を打ち出してほしい。

(30代 女性)
- 区政診断制度が取り入れられるようになったら、今までよりもっと身近に、親しめるようになる。

(30代 女性)
- 分かりやすくなると意見も明確になるので、より多くの区民の声を集められる。問題があったら、早く対処することが信頼と実績を生む。

(30代 女性)
- 区政診断の個別の項目は、あらゆる世代の人々の問題をカバーできている。これを実行していくために、今後区政モニターになる人が、診断の評価をする区民と区の橋渡しのような役割をするようになればよい。

(30代 女性)
- すべてが数字に表れ分かりやすいが、点数を付けるのはリストアップされた一部の住民か、区民全員なのか。制度導入の目的にコミュニケーションのためとあるが、その後数字によって財源を投入する分野を考えると、今迄はどのようにして公共事業等の優先順位を決めていたのか。

(30代 女性)
- 指標35「区職員の窓口対応を好ましいと感じる区民の割合」で、良い評価を得るのは難しい。区民は、電話での対応も含めて厳しい目で判断している。もう少し親切な対応を望む。

(30代 女性)
- 今までの広報手段では区民に理解してもらえない。このような長い説明の資料では、よほど興味のある区民以外には読んでもらえず、納得してもらえないのが現状だ。イラストや写真などで、簡単に理解できるようにしてほしい。個人的にはとても良い制度だと思う。

(30代 女性)
- 良いことだし、足立区を良い町にするためにも必要だ。図書館や住区センターの使い方やあり方も考えるとよい。公園の不足よりも公園内の充実を考えるべきである。

(30代 女性)

- 高齢者の就職を応援する区の動きと、区民の反応を示してもらいたい。健康であることも大切だが、経済的に発展してこそ健康も得易くなる。区民の生活を保障する強力な手段は、経済力をつけることだ。足立区がそのための支援を行えば、魅力ある区になる。

(30代 女性)
- 区政診断制度は、診断分野と項目が全体的にバランス良く設けられている上に、重要な問題に対しては詳しく診断する必要がある。例えば、今の時点では、産業分野と高齢者問題が重要だ。

(40代 男性)
- この制度によって、区政の良い所と悪い所が分かる。区民と行政を結ぶラインができることを強く望む。新しいことをスタートさせるのは大変だが、マンネリ化したことは次々に改善してもよい。

(40代 女性)
- 区政診断制度の導入により、区民が真に必要としている課題が区に伝わることはよいが、まだ聞き慣れない区民は大勢いるので、まず制度を理解してもらわなければいけない。この制度の導入によって、足立区の本当の行政改革を希望する

(40代 女性)
- 環境分野では、区民一人あたりのごみ処理費換算や、一人ひとりがごみの分別・リサイクルなどに協力するとどの程度の節約効果が得られるか等を試算し、あだち広報などで知らせる。評価委員会を設置するのなら、区と関連のない外部からの人選がよい。

(40代 女性)
- 区政診断の数字だけを見て机上の空論になっては意味がない。その数字を区民に示し、区民のために改革してこそ価値がある。難しい所からではなく、すぐに改善すべき所を見極めて動くのが真の区政ではないか。意見を聞くだけでなく、具体的に動いてほしい。

(40代 女性)
- 8つの分野にそれぞれ分かりやすい項目を設けてある。大切なのは評価なので、客観的に評価できる場をきちんと作る必要がある。どの位のサイクルで診断し、見直していくかがポイントだ。より細かく、長い時間を置かないで行ってほしい。具体的に、いつ頃から行っていくのか知らせてほしい。区民の気持ち、実状が反映される制度の活用を期待している。

(40代 女性)
- 診断をして、何を基準にベースづくりをするかが問われる。人が生きるための原点に戻って、不要なものは切り捨てる勇気も必要だ。区政として行うだけでなく、区で生活する人・企業と協力し合い、地域社会をつくっていくことを考えてほしい。

(40代 女性)
- 区政診断指標案一覧の内容も分かりやすく、よくできている。なるべく早く実施されることを願う。

(40代 女性)

- ・ 区政相談制度という言葉が今回初めて知った。住民と行政を結ぶ一つの方法だと思う。しかし、区政の現状を知るためには、もう少し理解しやすい表現方法があるのではないか。もっと図式などを用いたり、項目ごとに区民の意見を取り入れたらどうか。

(40代 女性)
- ・ 区政診断制度は素晴らしい試みだ。設備面の充実は良くなっているが、心の面、特に子育て・教育面では、児童虐待・学級崩壊・ひきこもり等となって、潜んでいる問題が吹き出している。未来を担う子どもたちとその両親に、区も手を差し伸べるべきだ。潜んでいるこれらの実態を明らかにし、対処法を提示してほしい。

(40代 女性)
- ・ 無差別犯罪の防止や大地震対策などの危機管理対策に対して、区政がどのように、どの程度取り組んでいるのか。今後の目標等を知らせるようにしたらどうか。最近の社会現象を見ていると、上記の方が交通事故より切実で、漠然とした不安を感じさせる。

(50代 男性)
- ・ 区の体力(質)を上げるのは、区民が暮らしやすいと思えることや、教育の充実を確信できることだ。数値として現れないことに区民の意識が向いていることを示すことも、区の体力を表現することになる。今後も公聴会を積極的に開いて、直接意見交換できる場を設けてもらいたい。

(50代 女性)
- ・ ①個人のプライバシーは保護できるのか。②どれくらいの人数、費用、期間で第1回の指標数値を出すことができるのか。③区内出生率・少年補導件数など調査しなくてもわかる項目は、広報に載せて対策を考えてほしい。

(50代 女性)
- ・ (行政評価制度の問題点) ①行政評価制度があることを区民に知らせる方法。②39項目を一遍にやろうとしても無理(各分野の中から抜粋して試験的に指標を出す方法も考慮)。③区民が区政に目を向ける従来にない広報手段の方法を考える。

(50代 女性)
- ・ 区政診断も統計で終わることなく、「足立区に住んでいる」と胸を張って皆が言えるような街にしていきたい。元気な高齢者でいるためには欠かせないので、健康・福祉分野に医療(歯科は多くあるが眼科・耳鼻科が少ないなど)も入れてほしい。

(50代 女性)
- ・ よく熟考された項目分類だ。しかし、社会構成の変化が極めて予測し難い年代を迎えようとしているため、行政が常に柔軟な姿勢を持ち、項目の見直しを適時行う必要が出てくる。行政評価制度を根付かせるには、より開かれた透明度の高い区政の確立が必要だ。

(50代 女性)

- 実施する前からあれこれ言っても仕方がない。39項目で始めてみて、追加するか不要かが分かってくると思う。区民が区政に関心を持つ良い制度だ。 (50代 女性)
- この制度は、区民にとって区政が身近かに感じられるものになる。しかし、制度を恒常的にチェックし、問題点の検討をする必要がある。それがどのように施策に反映されるのか気になる。 (50代 女性)
- 我々一人ひとりが行政をもっと身近に感じ、関心を持って生活をする。そのことによって意見も言える。変だと思ふ所は直し、良い所は伸ばしていく。「足立区のここが良いから長く住んでいる」と、他区の人に言えるような行政を期待している。問13の(5)「窓口などの職員の区民対応が良くなる」は良くなっていない。世の中が大きく変わっていく中で、なぜ変らないのか。 (50代 女性)
- 区政診断制度の趣旨は、大変結構なものなので賛成する。しかし、区民の満足度・不満度を具体的にどのような方法で調査するのか。もし、大規模な調査であれば大変だ。 (60代 男性)
- 区民一人ひとりが自らの区政であることを自覚できたら、真に住みやすい愛着ある地域となる。 (60代 男性)
- とても良い考えだ。「便利・快適分野」で、不便この上ない交通網の充実を切に願う。 (60代 男性)
- 国内外の資料を参考に内容の充実を図り、「安心、安全、便利、そして生きがいのもてる」足立区に、住んで良かったと感じられる区政を実現する。最終目標は、過程より結果で答えを出すものと考えて。 (60代 男性)
- 最初から完全を期するのは無理だ。最も大切な点は、すべての区民が理解できる表現を用いることだ。全区民にこの制度が理解され、浸透するには時間が必要だ。従って、基礎的な所から積極的に、まず始めてみるのが賢明だ。大切なことは、区のあらゆる職員がこの制度を理解し、実行できるかということだ。この点が、区民と区政のキャッチボールがうまくいくかどうかの分岐点となる。 (60代 男性)
- 区政診断の目的に、足立区的生活環境の「何が改善されたのか」、「何が必要とされるのか」、「何が不十分なのか」とあるが、指標の多くはそれについての質問となっていない。例えば、指標1～6では、コスト・予算の関係から、今後必要となりながら減少せざるをえないものばかりで、区政に対して不信感が増すばかりだ。指標づくりは、担当者だけでつくるのではなく、指標作成委員会等で多角的見地からつくるのが望ましい。 (60代 男性)

- ・ 継続的に数値をとらえ、どのように変化するか、あるいは変化させてゆくかが分かるので興味深い。 (60代 男性)
- ・ 住民と住民との良好な関係、あるいは必要な共助活動について、これを啓発助成していくことを次の段階の指標に掲げてはどうか。「住み良い、住み続けたい足立」とは、ハード面だけではない。ハートもあるはずだ。 (60代 男性)
- ・ 区政診断制度の内容を見て大変良いと思うが、もっと区民にアピールする必要がある。また、診断結果の運用面が区民によく分かり、課題などは十分に活かされるようにしてほしい。 (60代 男性)
- ・ 数年先には行政評価制度を取り入れる区が多いと思うので、比べてみれば足立区の実状を区民に理解してもらえる。 (60代 女性)

区政診断指標案一覧

I 健康・福祉分野

- 1 国民健康保険対象者一人あたりの医療費支出額
- 2 全死亡者に占める、生活習慣病によって死亡した区民の割合
- 3 元気な高齢者の割合
- 4 特別養護老人ホームへの入所を待っている高齢者数
- 5 養護学校卒業生のうち、日中在宅している人の割合
- 6 公的な介護に安心を感じる区民の割合

II 安全分野

- 7 火災による年間死傷者数
- 8 交通事故による年間死亡・重傷者数
- 9 大地震の際の備蓄食品の目標(区民一人あたり3日分)達成率
- 10 大地震の際の備えをしている区民の割合
- 11 震災や事故に対してまちが安全だと感じる区民の割合

III 子育て分野

- 12 区内出生率
- 13 保育サービスを希望しながら、受けられていない児童数
- 14 区立学校を信頼できると感じる区民の割合
- 15 学校が楽しいと感じる児童・生徒の割合
- 16 少年補導件数

IV 環境分野

- 17 ダイオキシン類の汚染に係る環境基準達成度
- 18 区内主要河川における魚種出現数
- 19 公害苦情件数
- 20 区内における年間のごみ排出量
- 21 区内における年間の資源回収量

V 産業分野

- 22 製造業従事者一人あたりの年間製造品出荷額
- 23 卸売業・小売業従事者一人あたりの年間販売額(3年ごと)

VI 便利・快適分野

- 24 交通や移動に不便を感じる区民の割合
- 25 区内に公園が不足していると感じる区民の割合
- 26 区内に運動をするための施設・環境が不足していると感じる区民の割合

VII 社会参加分野

- 27 障害者の法定雇用率の達成度
- 28 自分が社会参加できていると感じる区民の割合
- 29 生涯学習の機会が身近にあると感じる区民の割合
- 30 区の公的審議会・委員会における女性委員の割合

VIII 区政・区役所分野

- 31 足立区が暮らしやすいと感じる区民の割合
- 32 区内に定住意向をもつ区民の割合
- 33 区民に占める15～64歳の人口の割合
- 34 区民一人あたりの所得額
- 35 区職員の窓口対応を好ましいと感じる区民の割合
- 36 区から提供される区政情報に満足している区民の割合
- 37 区政に満足している区民の割合
- 38 区税等の公金の収納率
- 39 区の経常収支比率

平成12年度 第4回区政モニターアンケート

《区政診断制度について》

氏名 _____

足立区では、行政サービスの改善や説明責任の遂行のため、別添「区政診断制度について」でご説明しました「区政診断制度（＝行政評価制度）」の導入を予定しており、その制度づくりを進めています。

このようなことから、区政診断制度について区政モニターのみなさんのご意見をお聞きし、今後の区政診断制度づくりを検討する上での参考にさせていただきたいと思えます。よろしくご協力をお願いします。

なお、別添資料「区政診断制度について」をお読みいただいた上で、以下の設問についてご回答ください。

※設問に、特にことわりがない限り1つを選んでください。

問1 あなたは、行政評価制度をご存知でしたか。

- (1) 内容まで知っている
- (2) 言葉だけなら聞いたことがある
- (3) 知らなかった
- (4) その他（具体的に _____）

問2 足立区では、「区の現状や区政を人の体になぞらえ、その健康診断を行う」という区政診断制度（＝行政評価制度）を取り入れようと考えていますが、区政診断制度について、ご理解いただけましたか。

【資料1～4ページの「2 区政診断の考え方 (1)～(3)」をご覧ください。】

- (1) よくわかった → 問4
- (2) だいたいわかった → 問4
- (3) あまりわからなかった → 問3
- (4) まったくわからなかった → 問3
- (5) その他（具体的に _____） → 問4

問3 問2で(3)または(4)を選んだ方にお聞きします。

区政診断制度について、わかりにくいところやその理由をお書きください。

()

問4 区政診断制度では、診断分野を「健康・福祉」「安全」「子育て」「環境」「産業」「便利・快適」「社会参加」「区政・区役所」の8分野に分類しています。あなたは、この分類の仕方について、どのようにお考えになりますか。

【別添資料3～4ページ「3 区政診断指標」、5～13ページ「区政診断指標案解説」、17～18ページ「区政診断指標案一覧(再掲)」をご覧ください。】

(1) 適切である → 問7

(2) 追加・変更したい分野がある → 問5

(3) まったく別な分類がよい → 問6

(4) その他(具体的に) → 問7

問5 問4で(2)を選んだ方にお聞きします。

あなたが、追加・変更した方がよいと思われる項目及び代案をお書きください。

()

問6 問4で(3)を選んだ方にお聞きします。

分類の仕方について、具体的にお書きください。

()

問7 区政診断制度では、個別の診断項目として「国民健康保険対象者一人あたりの医療費支出額」など、当初39項目の指標を用いる予定です。ひとつひとつの指標について、それが何を表わしているか、わかりにくいとお感じになるものがありますか。

【資料3～4ページ「3 区政診断指標」、5～13ページ「区政診断指標案解説」、17～18ページ「区政診断指標案一覧(再掲)」をご覧ください。】

(1) ない → 問9

(2) ある → 問8

問8 問7で(2)を選んだ方にお聞きします。

あなたが、わかりにくいと感じる指標の番号と理由をお書きください。

()

問9 あなたは、39項目の診断指標のなかで、区の診断項目としてふさわしくない、もしくは不要とお考えになるものがありますか。

【資料3～4ページ「3 区政診断指標」、5～13ページ「区政診断指標案解説」、17～18ページ「区政診断指標案一覧(再掲)」をご覧ください。】

(1) ない → 問11

(2) ある → 問10

問10 問9で(2)を選んだ方にお聞きします。

あなたが、不要とお考えになる指標の番号と理由をお書きください。

()

問11 あなたは、39項目の区政診断指標のなかで、追加・変更した方が良いと思われる項目がありますか。

(1) ない → 問13

(2) ある → 問12

問12 問11で(2)を選んだ方にお聞きします。

あなたが、追加・変更した方がよいと思われる項目及び代案をお書きください。

()

問13 あなたは、区政診断制度が本格的に定着してきた場合、区政はどのように変わるとお考えになりますか。(いくつでも)

(1) 区政がわかりやすくなる

(2) 区民が区政にもっと自由に参加しやすくなる

(3) 区民生活に真に必要な施策が実施されるようになる

(4) 区民にわかりやすい行政改革が進む

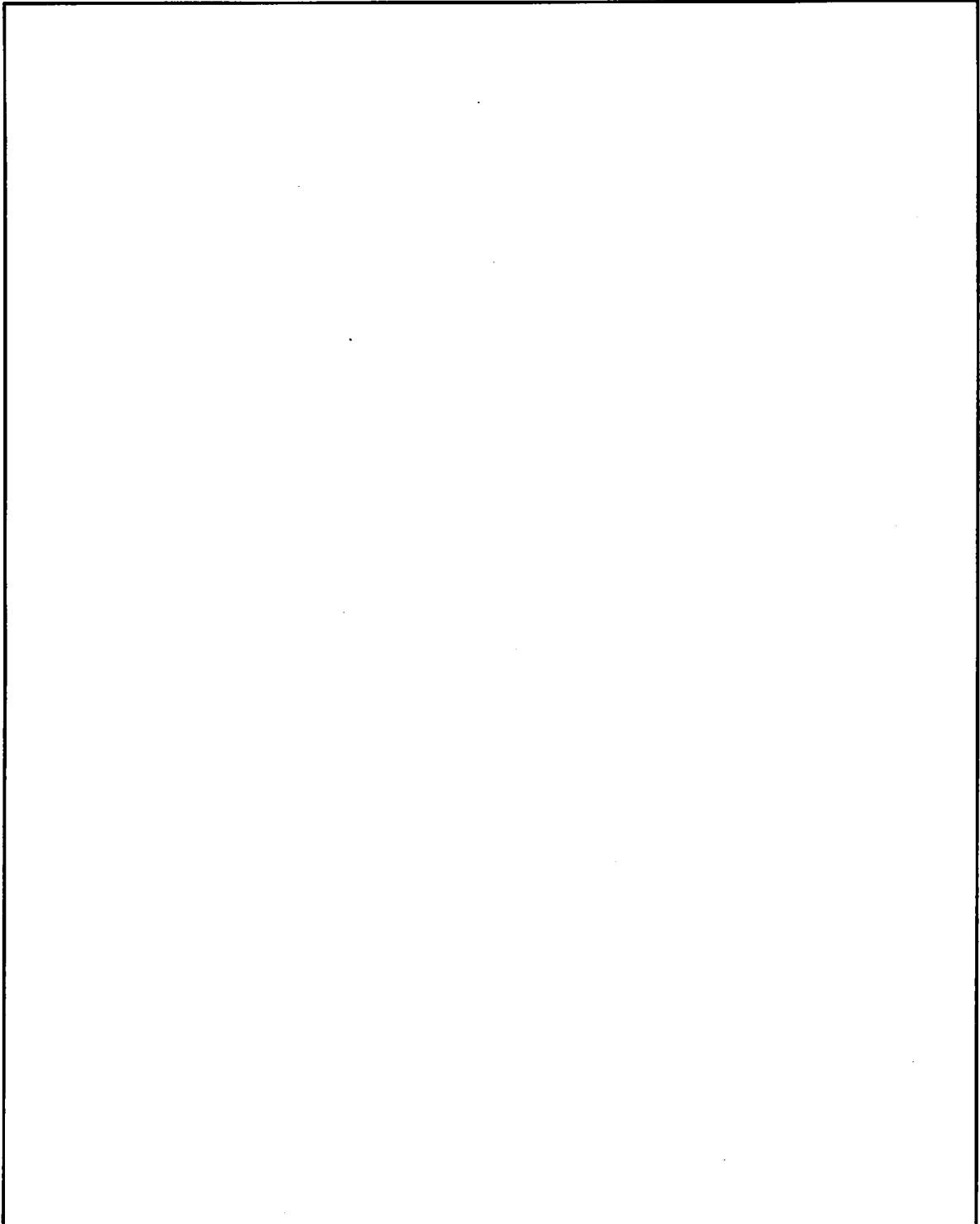
(次ページに続く)

(5) 窓口などの職員の区民対応が良くなる

(6) あまり変わらない

(7) その他（具体的に _____)

問 14 足立区の区政診断制度について、ご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。



ありがとうございました。